

さくら第545号

令和 7年5月

さくら

発行所 さくらそろばん
発行者 平瀬重雄
春江町境 17-7・TEL51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp

エンジ
あひねえ
自分には
エンジン
かけるのは
自分自身だ
がらや
みつを

『ころばぬ先の杖は自分で持つ』

物理学者で随筆家の寺田寅彦は「天災は忘れた頃にやってくる」と述べています。災害から生命と財産を守るために誰しもがいろいろな対策をたてます。生命保険に加入し最悪の時に家族の生活を守るための手立てです。

車を運転していて事故に遭った時に、自分や相手への補償のために自動車保険や火災保険にも加入し、近年、多く発生する地震への対策として地震保険などに加入したり契約内容の見直しなどもします。

このようにいつ起きるか予想できないことへの前もつての対策は大事ですね。災害避難用の防災グッズなども置きます。

ところで「転ばぬ先の杖」という言葉があります。つまずいて転んでから、ケガをしてから杖を探しても遅いから、前もって杖を持って歩けば、大丈夫ということです。失敗しないように前もって準備しておくということわざです。

よく似たのに「石橋を叩いて渡る」というたともあります。材木を使った橋よりも石材で造った橋のほうが丈夫で強いことは誰しもが分かります。見るまでもないことですが、それでも念には念を入れるために大丈夫かなと石を叩き、確かめることを指します。

転ばないようにと親が先回りして危ないと思われるような事を前もって取り除くと転ばないかもしれませんが、果たしてその人の将来によいのでしょうか。

そろばんの授業中に応用問題を円位未満まで計算して書いた答が1023ですと持ってきました。そこで×をつけて返すと、同じ答になり

ましたと出すので×をつけて再度もどします。

すると不満気な顔で、何度計算しても同じ答ですと言うので、よく見て答を書いてください。やり直しですと言いながら、忘れ物をしないように気をつけて答を書いてと言え「アッ！そうか」と急いで席に戻り、コンマを書き込んで見せるので、残念ですね。もう1回見直しです円位未満の問題ですから、お金の計算ですからね。と言い終らぬうちに、その場で書こうとするので、席に戻って、なぜ間違えたのかをもう2回考えてから書き直してください。

これでようやく本人がどこでミスしたかを確かめたのです。私が、コンマと円記号を付け足してわたせば手間取ることもないのですが、それでは本人のためにならず同じミスを何度も繰り返すことになります。

我が子をかawaiiからと、転ばぬように先回りして安全を確かめることも時と場合によっては必要な事もあるかも知れませんが、何から何まで杖を使うことは必要ないでしょう。

大事な事は、転んだ時に当事者がどのような判断をし、どのような行動をとるかです。

ずいぶん昔、小学校の工作の時間に小刀(こがたな)を使い、手を切ってケガをしたことから、使わせないようになったといひます。ケガしない方法は、使わないということです。失敗しないための方法は、何もしないという事です。

また、「備えあれば憂いなし」ともいわれるように、ふだんから準備をしておけば、いざ何かが起きて心配する(憂う)ことはないという意味で使われています。

検定試験ですべらないようにと、よくミスするような問題を作問し練習で力をつけるようにと取り組みますが、苦手な種目の点数がアップしません。よく似た問題で何度も転びます。

12-4=6や、100-1=89になる人。みとり算の答で1の位が「0」だと書き忘れる人。8×6=42と覚え込んでいる人などいろいろです。大事な事は、転ばぬ先に、ミスしないようにと自分が強く意識し、ふだんの練習でしっかり練習することです。杖は自分で持つこと。

五月雨や
大河を前に
家二軒
季語
五月雨
与謝蕪村
降り続く五月雨で
激しく流れる大河の
前に二軒の家がよりそ
っている。